

YUI

【結】



ただいま275の市民活動グループが登録中！
市民活動とは、営利を目的としない自主的な公益活動のことです。

- 内容**
- ▶ 活動レポート …… 日本語クラブ周南
 - ▶ お知らせ …… Canva講座を開催します
 - ▶ ニュース …… 個人のパーパスを探る、情報発信連続講座、市民活動パネル展を開催しました



The Japanese Language Class in Shunan

日本語クラブ周南は、1991年の設立以来、周南地域に在住する外国人に日本語学習の場を提供している団体です。現在は、『外国人のための日本語講座』『日本語でおしゃべり♪+さくら会』『こども にほんごクラブ』の3つのクラスを年間を通じて開講しています。今回は、代表の石井さんにお話を伺わせていただきました。

活動を始めたきっかけを教えてください。

1990年の法律改正で、外国人の来日が増加したことをきっかけに、外国人のための日本語教室が山口県内でもいくつか立ち上がりました。その一つが、日本語クラブ周南の始まりです。

現在のメンバーは、元教員など、日本語を教えることに興味関心知識のある15名です。私自身はというと、元々教えることに興味があり教員免許を持っていたのですが、“日本語”という、国語でもない、英語でもない分野が新鮮に感じられて、日本語教師の養成講座を受講したことが活動を始めたきっかけです。



活動をする中で感じる難しさ、やりがいを教えてください。

学習者のニーズや背景も多様化しているので、そこに対応する難しさは感じます。日本語といっても、仕事で使うのか、日常生活で使うのか、読み書きがしたいのか、喋ってコミュニケーションがしたいのかなど、それぞれ目指すところが異なるので均一的なカリキュラムは組めません。

その一方で、授業を受けた学習者が、“なぜこういう勉強をしなければいけないのかがこの授業で分かった”と、学ぶ理由を理解してくれた時とてもやりがいを感じます。



多文化共生について教えていただきました。

昨今、外国ルーツの方と全く関係性がない方は、おそらくいないのではと思います。企業やコンビニなど、様々な場所で多くの外国人が働いていて、私たちの生活を支えています。日本人も外国人も同じ地域に住む市民であり、共に暮らしていく仲間。その仲間が困っているならば手を貸す、そんな想いで活動をしています。

誰にとっても身近なものになった“多文化共生”を多くの人に知ってもらえたらと思います。



多文化共生とは？

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

案内

日本語クラブ周南の活動にご興味がある方は、ぜひ一度見学をしてみてください。

また、活動の様子をFacebook、Instagramでご覧いただけます！



『個人のパーパスを探る』を開催しました

主催：公益財団法人周南市ふるさと振興財団／しゅうなん市民活動支援センター

2月16日、『個人のパーパスを探る～しあわせな組織であるために～』を開催しました。活動を持続的に、そして幸福感や充実感を得ながら取り組むため、自分史の作成や参加者同士のインタビューを通じて、自分自身や一緒に活動するメンバーの価値観について理解を深めました。

